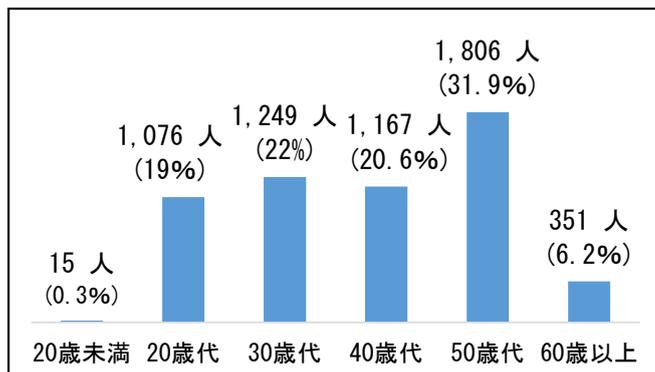


『公立学校共済組合静岡支部保健事業実施に関するアンケート』(集計結果)

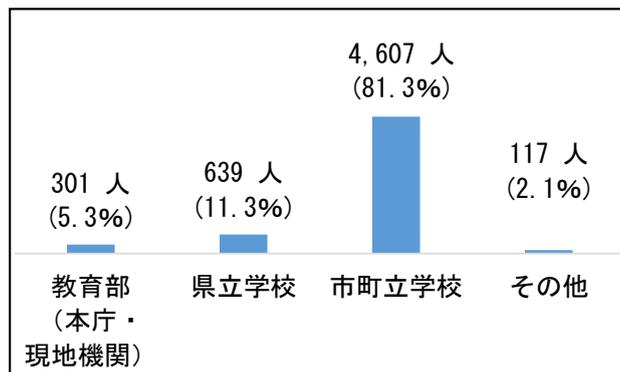
総回答数…5,664件(回答率約19.7%) ※組合員数28,816人(令和4年4月1日現在)

1 アンケート回答者について

(1) 年齢



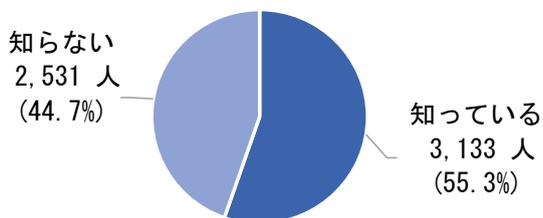
(2) 勤務先



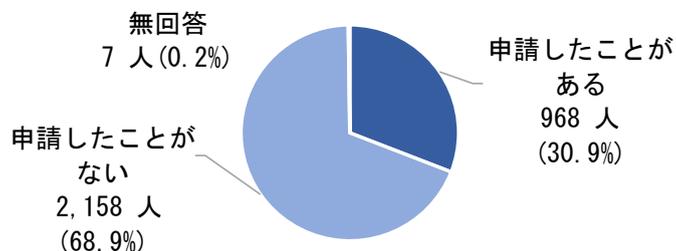
2 一般事業について

(1) 教職員元気回復事業

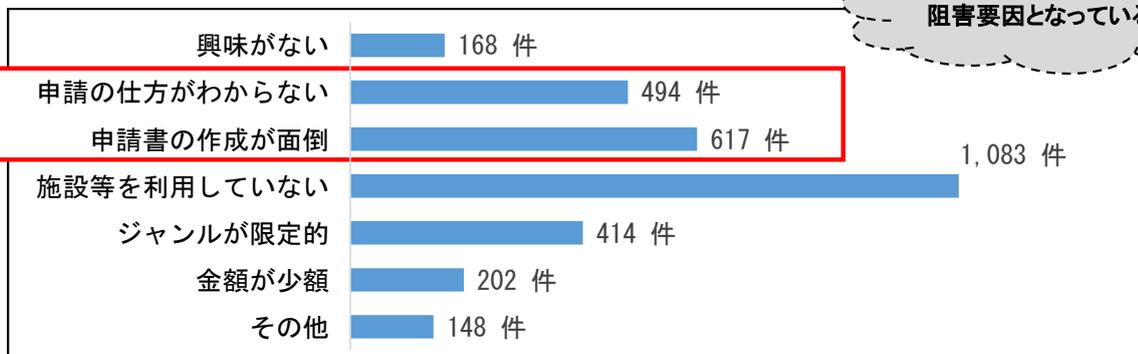
① 事業について



② 申請の有無 ※「知っている」と回答した方のみ



③ 申請しない理由 ※「申請したことがない」と回答した方のみ(複数回答可)



申請の煩雑さが利用の阻害要因となっている。

申請しない理由(その他 自由回答欄)

出かけることができない、施設が限定的	34件
申請する時間がない、優先順位が低い	31件
事業内容の理解が曖昧	28件
提出物の条件が厳しい、揃えるのが手間	21件

今後申請する予定	18件
そういうものがあることを忘れていた	12件
事務職員の手間になるのが申し訳ない	2件
上記に該当しない	10件

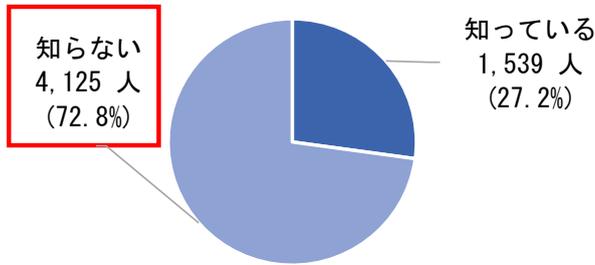
④ 何を改善すれば申請するか ※「申請したことがない」と回答した方のみ

申請・利用方法をわかりやすく簡略化	656件
周知方法	385件
利用事由・施設の拡大	290件
クーポンや金券の配布、金額の増額	131件
申請の機会を作る	67件

多忙化の解消、時間の確保	56件
コロナ収束、コロナ禍でも利用可能な内容	52件
改善する必要は無い	49件
廃止・ベネフィットへの移行、平等性	23件
上記に該当しない	47件

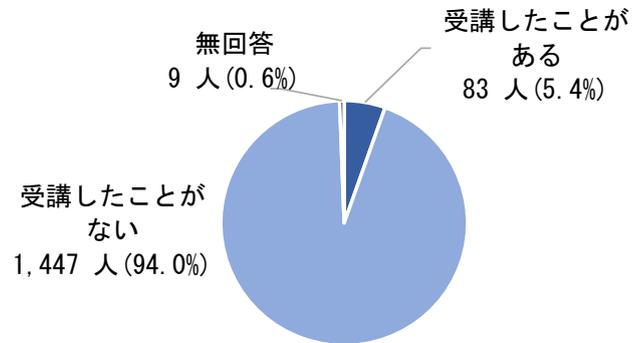
(2) 介護講座事業  
【オンライン介護講座】

① 事業について

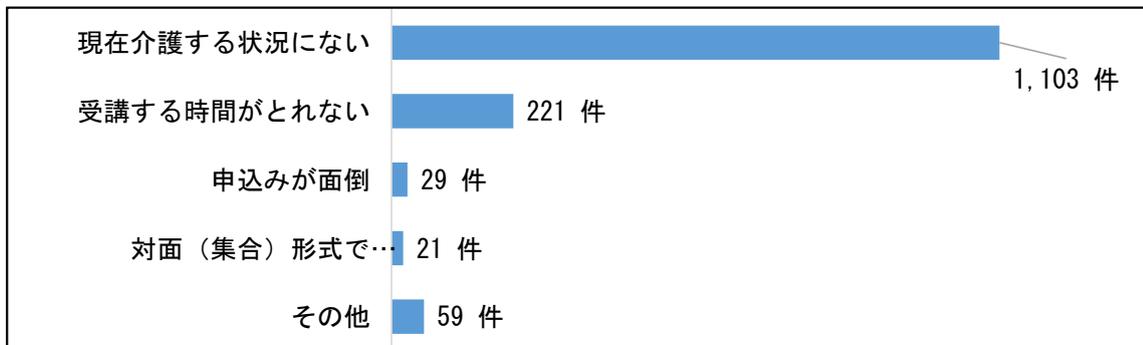


事業の認知度が低く、介護の知識を必要としている方に情報が届いていない。

② 受講の有無 ※「知っている」と回答した方のみ



③ 受講しない理由 ※「受講したことがない」と回答した方のみ(複数回答可)



受講しない理由(その他 自由回答欄)

過去に受講済みである	21件
必要がない	16件
自身が介護に詳しい	8件
忙しくて申請する時間がない	5件
別のところで支援を受けている	2件

内容が知りたいことではない	2件
受講予定である	2件
日程が合わない	2件
Zoomの設定など受講方法がわからない	2件
関心はあるが受講は面倒である	1件

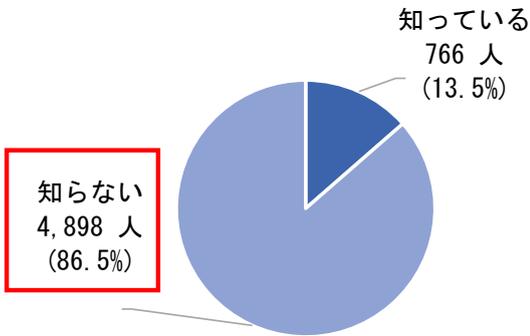
④ 何を改善すれば受講するか ※「受講したことがない」と回答した方のみ

必要な状況になれば受講する	187件
周知方法	132件
改善する必要はない	60件
講座の取り扱い(開催方法(巡回、個別)、 悉皆研修、年齢指定、サービス(義免、出張))	28件
より興味をひく講座内容	25件
申込方法の簡略化	24件
対面での開催	22件
受講しやすい日時	20件
受講のメリットをPRする	16件

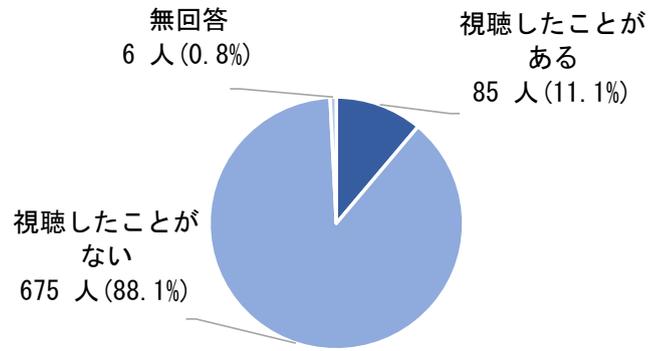
簡単さ、気軽さ	15件
オンデマンド	14件
今後受講したい	11件
短時間でポイントを押さえた動画	7件
開催数を増やす	5件
廃止する	5件
講座以外の方法での情報提供	4件
Zoomの使用法を丁寧に説明する	3件
受講しやすい職場の雰囲気	3件
上記に該当しない	11件

【動画配信】

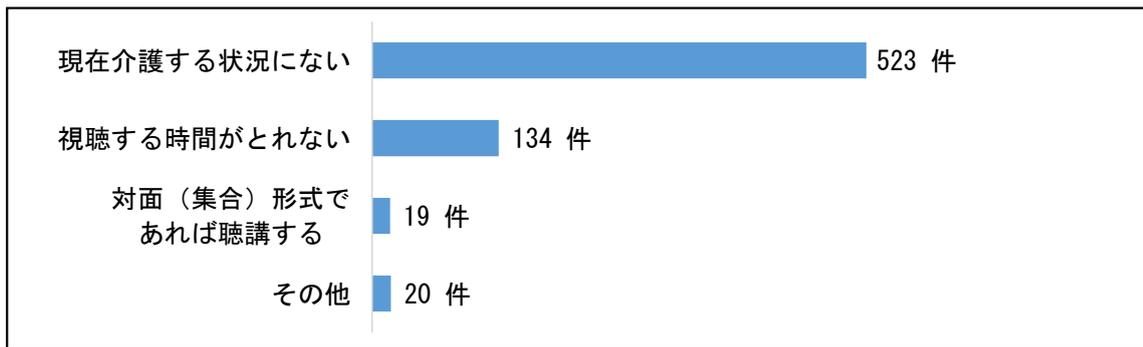
① 事業について



② 視聴の有無 ※「知っている」と回答した方のみ



③ 視聴しない理由 ※「視聴したことがない」と回答した方のみ(複数回答可)



視聴しない理由(その他 自由回答欄)

受講予定である	5件
ネット環境が整っていない	2件
視聴方法がわからない	2件
自身が介護に詳しい	2件
興味がない	2件

必要がない	1件
申込を忘れていた	1件
講座の内容が知りたいことではない	1件
上記に該当しない	4件

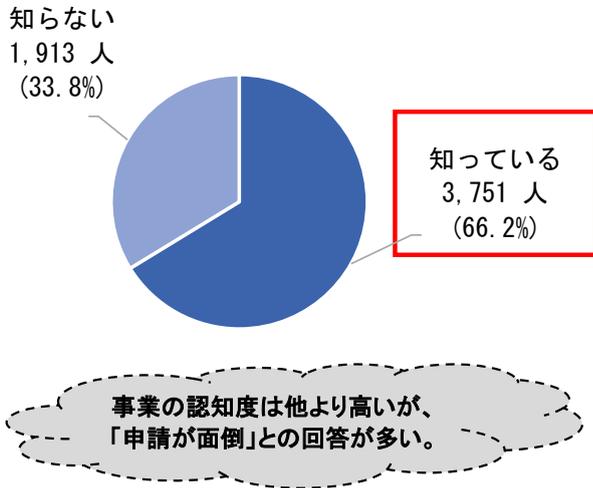
④ 何を改善すれば視聴するか ※「視聴したことがない」と回答した方のみ

周知方法	107件
必要な状況になれば受講する	104件
改善の必要はない	41件
簡単に視聴できるようにする	15件
動画の内容	13件
今後視聴したい	10件
短時間でポイントを押さえた動画	7件

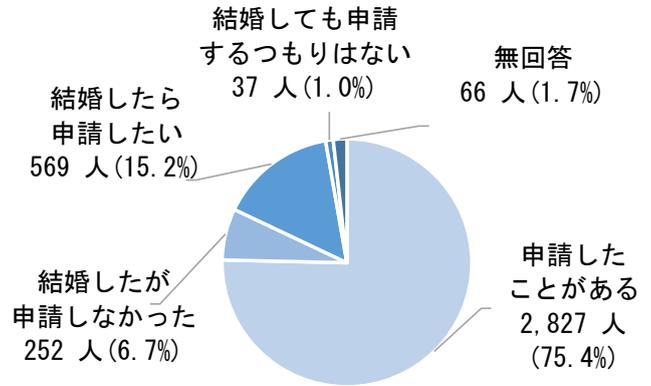
会議や研修での視聴	5件
受講のメリットをPRする	4件
サービスの取り扱いを見直す	4件
視聴可能期間をのばす	4件
視聴環境を整える	2件
廃止する	2件
上記に該当しない	39件

(3) 結婚祝品事業

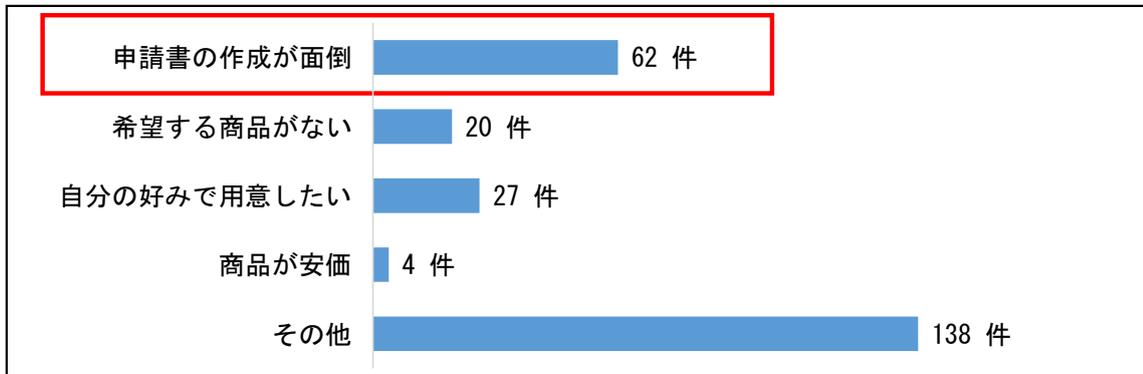
① 事業について



② 申請の有無 ※「知っている」と回答した方のみ



③ 申請しない理由 ※「申請しなかった」、「申請するつもりはない」と回答した方のみ(複数回答可)



申請しない理由(その他 自由回答欄)

申請要件に該当しない	104件
申請方法がわからない	4件
申請を忘れていた	4件
興味がない	5件

事業がなかった(H25年度以前)	10件
申込期限に間に合わなかった	5件
祝品が必要ない	2件
上記に該当しない	5件

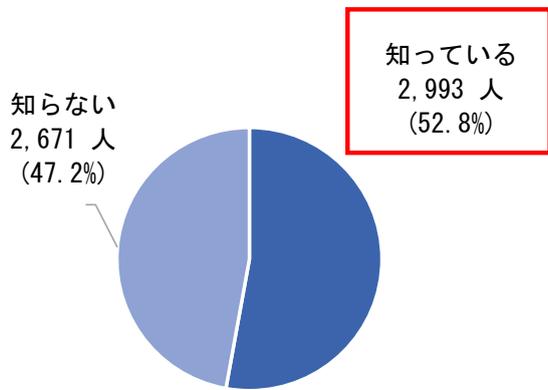
④ 何を改善すれば申請するか ※「申請しなかった」、「申請するつもりはない」と回答した方のみ

周知方法	53件
申請方法の簡略化	29件
現金や金券にする	14件
結婚後に組合員になった者も対象とする	14件
未婚者にも対応してほしい	14件
品物の種類を増やす、より高価にする	4件

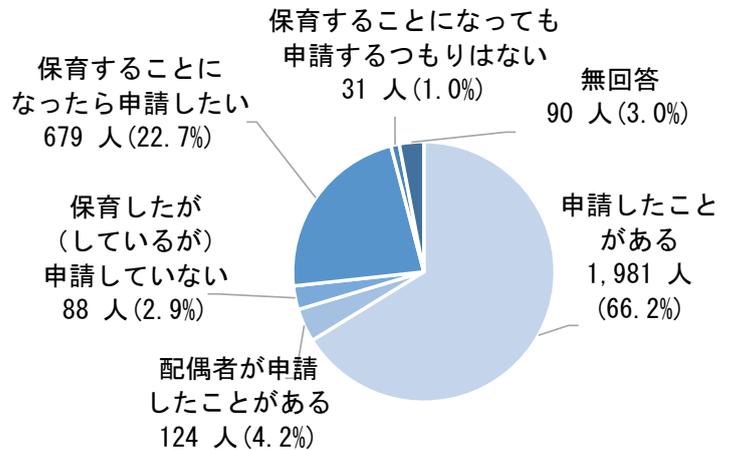
事業を廃止する	9件
多忙化の解消・時間の確保	5件
申請期限を延長する	2件
周年記念でも祝品をもらえるようにする	5件
上記に該当しない	7件

(4) 出産保育事業

① 事業について

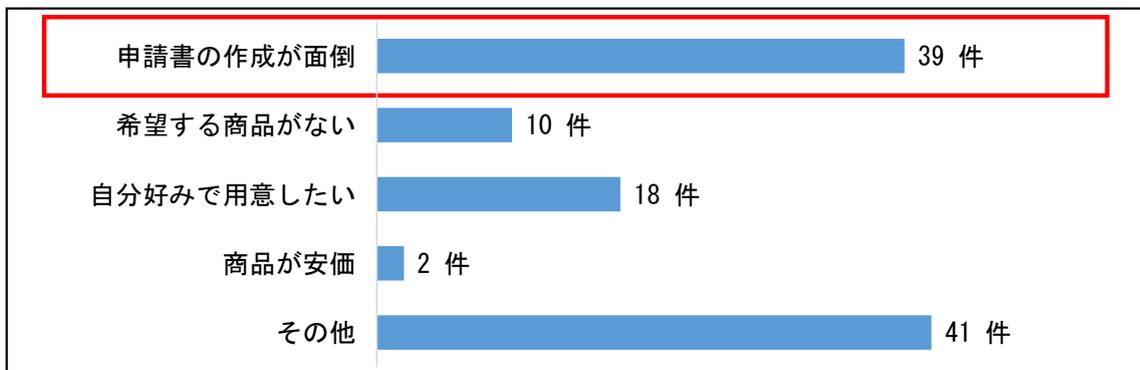


② 申請の有無 ※「知っている」と回答した方のみ



結婚祝品事業と比べて事業の認知度が低い。  
「申請が面倒」との回答が多い。

③ 申請しない理由 ※「申請しなかった」、「申請するつもりはない」と回答した方のみ(複数回答可)



申請しない理由(その他 自由回答欄)

申請要件に該当しない	14件
当時は事業について知らなかった	5件
当時のことを覚えていない	3件
欲しいものが無かった	1件

必要がない	1件
不平等な事業であるため	1件
上記に該当しない	1件

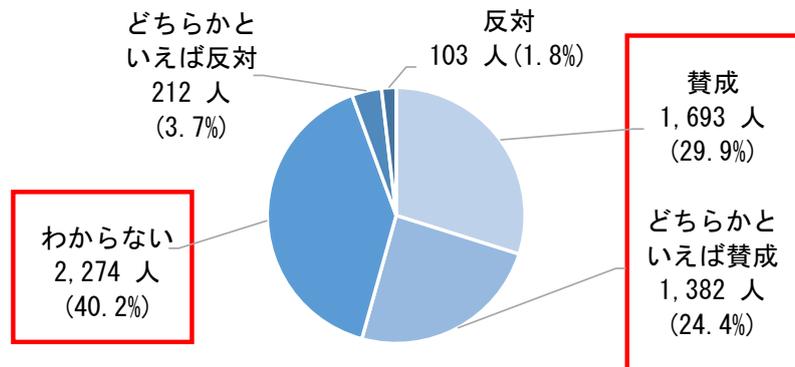
④ 何を改善すれば申請するか ※「申請しなかった」、「申請するつもりはない」と回答した方のみ

周知方法	36件
申請方法の簡略化	27件
申請要件に該当する人を増やす	22件
平等性のある事業にする	9件
カタログ内容の充実	7件
現金や金券にする	6件
カタログギフト以外の物	5件

申請方法がわからない	5件
廃止する	4件
父母両方申請できるようにする	2件
遑って申請できるようにする	2件
多忙化の解消・時間の確保	3件
各自が購入した商品についての助成をする	1件
子供が大きくなってからも利用できる事業へ	1件

### 3 ベネフィットステーションについて

①4つの事業を廃止し、ベネフィットステーションに移行することについて



導入に賛成の意見が過半数を占めているものの、「わからない」との回答が相当数ある。

②賛成の理由 ※「賛成」または「どちらかといえば賛成」と回答した方のみ（複数回答可）

幅広い層の組合員が対象	1,493 件
幅広いジャンルの選択肢がある	1,941 件
公立学校共済組合静岡支部への申請が不要	1,023 件
何回も利用できる	1,014 件
自分のタイミングで利用できる	1,153 件
その他	63 件

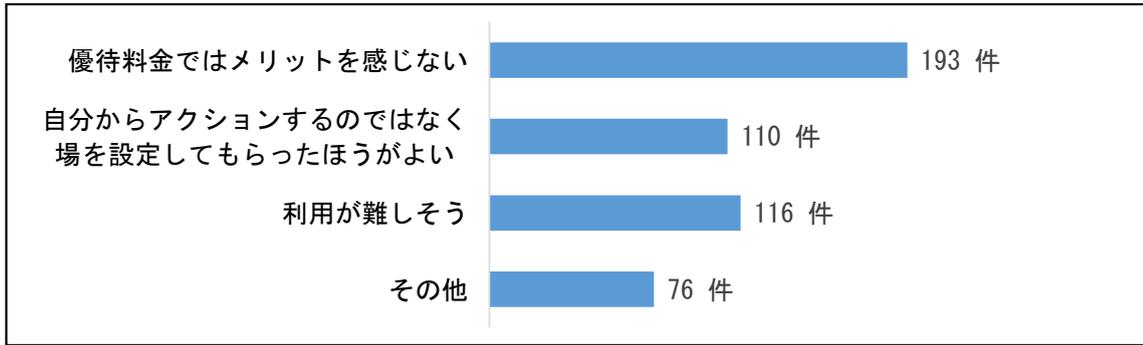
グルメやショッピングのほかその他のジャンルも充実しており、利用対象範囲が大幅に拡大し利用者数の増加が期待できる。また組合員自身のタイミングで利用することができ利便性の向上に繋がる。

#### その他(自由回答欄)

希望のサービスがある、家族も利用可能	10件
共済職員、事務職員の負担軽減	8件
現行よりも拡充されると考えるから	8件
以前に利用したことがありメリットを感じた	4件
申請が簡単になる	4件
事業がわかりやすくなった	4件

知事部局と同じになる	3件
周辺に利用できる施設があれば賛成	3件
現在の事業を一部継続なら賛成	3件
負担額が増えずお得になるならば賛成	3件
希望のサービスがあれば賛成	2件
上記に該当しない	9件

③反対の理由 ※「反対」または「どちらかといえば反対」と回答した方のみ(複数回答可)



その他(自由回答欄)

利用可能な施設が周辺にない	20件
現行事業継続、拡充	10件
情報量が多く利用しにくい	8件
委託料に相応する還元があるか不明	6件
利用する人としらない人の差、不公平感	5件
利用、申請する時間がない	4件

委託による利益還元率、サービスの低下	4件
保健事業自体を廃止すべき	3件
メリット・デメリットが不明であるため	3件
家族等が利用しているがメリットを感じない	3件
既に会員であるため	2件
上記に該当しない	9件

4 まとめ

現状の4事業については、いずれも半数近い組合員が「知らない」と回答しており、事業の周知不足を表す結果となった。

また、申請しない理由については、「施設等を利用していない」、「申請要件に該当しない」など利用機会のない組合員が多数いることもわかった。

ベネフィットへの移行については、「わからない」との回答が約4割となっているが、これは現状の事業の認知不足によりベネフィットとの比較ができなかったことが原因と分析した。

ベネフィットの導入については、概ね理解をいただけたものと判断しているが、上記のとおり事業の周知が重要であることから、導入にあたっては、利用方法や利用可能な場面の紹介などのPRを積極的に行うことが必須である。